

カザグルマ

Clematis patens Morren et Decaisne

キンポウゲ科

石川県カテゴリー 絶滅

国カテゴリー 準絶滅危惧

選定理由

県内では過去30年間確認情報が得られていない。野生では絶滅したものと考えられる。(現況:RE)

形態

茎は褐紫色で木質化する。上部で分れ、四方に茎を伸ばす。葉は対生し、羽状複葉で小葉は3~5枚。葉柄は長く、これによって他物に巻きつく。花弁状の萼片は8個あり、植栽されているテッセンの萼片は6個がふつうである。

国内分布

本州(秋田県以南)~九州(北部)に分布する。

県内分布

口能登区、加賀中央区及び南加賀区のヤブツバキクラス域に分布していたが、すでに絶滅した。

生態など

長さ3~5mになる落葉のつる性木本である。開花期は5~6月。果実は瘦果で頭状に集まってつき、宿存する花柱は褐色の短い毛がある。

生育環境

林縁から日の当たる湿地にも生育する。また、蛇紋岩や石灰岩にも生える。

危険要因

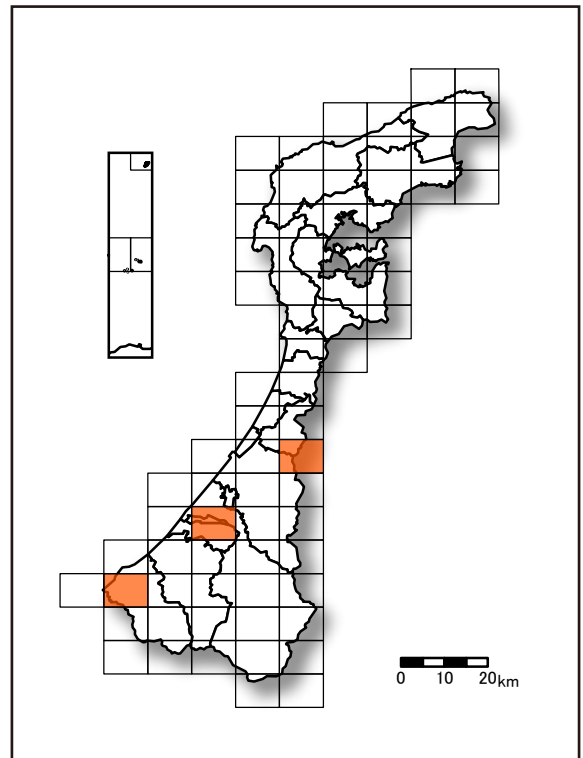
ゴルフ場、土地造成、道路工事。

特記事項

能美郡辰口町の産地はゴルフ場造成のため失われてしまった。



本多郁夫・2004年5月22日



県内の分布